

## 伊万里港が国際物流拠点として発展中!



北部九州の国際物流拠点・伊万里港で、コンテナを船から降ろしたり、積み込んだりするガントリークレーン2号機

(愛称:まりん)が11月13日から稼働を始めました。韓国・釜山や中国・上海などとの国際航路を持つ伊万里港は、輸入と輸出を合わせたコンテナ貨物の取り扱い量が順調に伸びていて、クレーンが2基体制になって、より効率的に作業ができるようになりました。私たちの暮らしを支える伊万里港は、今後、東南アジア・台湾との直航航路の誘致を目指すなど、さらに発展していきます!

伊万里港は、コンテナ貨物取り扱い量が九州で4番目!



大型コンテナ船への対応も可能に!



2号機「まりん」  
1号機「いちごう」

## SAGA2024 カウントダウンボード登場!

**SAGA 2024** 2024年に佐賀県で開催される「SAGA 2024 国スポ・全障スポ」に向けて、総合開会式の2年前にあたる10月5日にカウントダウンボードを設置しました。ボードには、県内外で活躍する佐賀ゆかりのアスリートモデルにしたピクトグラムをデザイン。お披露目式には、モデルになった体操競技の曾根崎しずく選手(鳥栖高)、バレーボール(知的障がい者の部)の向門直人選手(九州製鋼株)が参加しました。県庁新館1階の県民ホールと九州佐賀国際空港2階sagair前の2カ所に設置していますので、皆さんぜひご覧ください!

SAGA2024の最新情報は  
こちら



開会まで一緒に盛り上げていきましょう!



曾根崎選手 向門選手

## M-1グランプリ出場の県職員コンビが、ナイスアマチュア賞を受賞!

プロ・アマ問わず、日本一の漫才師を決めるM-1グランプリに、県中央児童相談所の齊藤考生さんと小塩哲平さんが「今日もさが日和」というコンビ名で出場し、各会場で1日1組選ばれるナイスアマチュア賞を受賞しました。そもその始まりは、漫才ならではのトーク力を、相談者とのコミュニケーションに活かそうと、コンビを結成したこと。「せっかくならM-1にも挑戦してみよう!」と、初出場した昨年は1回戦敗退でしたが、今年は2回戦まで進みました。佐賀愛が爆発する二人の漫才に、引き込まれること間違いなし。ぜひご覧ください!



提供:M-1グランプリ事務局

歴史や食など身近な佐賀の魅力満載のネタです!

予選のネタをYouTubeで公開中!



## サガプライズ!が、2つのアワードを受賞!



FRaU JAXURY号(2022年5月号)

モダンなデザインの有田焼、嬉野の温泉やティーリズムなど、佐賀の“ほんもの”を紹介!

漫画はWEBでも読めます!



※12/31まで

佐賀海苔を主役に、全国のご当地食材との食べ合わせを妄想グルメ漫画で紹介。世界初の海苔コミック誌『藻刊サガノリ』も発刊!県立図書館で読むことができます。



佐賀の魅力を全国に届ける情報発信プロジェクト「サガプライズ!」が、2つのアワードを受賞しました。一つ目は、FRaU JAXURY号(2022年5月号)に掲載した「佐賀ジャクシュアリー」が『第64回日本雑誌広告賞』タイアップ広告部門で金賞を受賞。嬉野市と有田町を中心に、唯一無二の佐賀県の旅を紹介しました。二つ目は、アニメやマンガなどを活用した異業種コラボを表彰するイベント『京都アニものづくりアワード2022』地方創生部門で、「佐賀海苔主役祭り」が銅賞を受賞しました!

## 買って、食べて、体験して、地域を応援!

県の支援事業を活用して、地域を盛り上げる企画やイベントなどが各地で開催されています。皆さん、ぜひご参加ください!

### ARITA SAUNA MARKT

とき 12月10日(土) 9:00~16:00  
ところ 電門キャンプ場(有田町広瀬山)  
料金 3,000円(1,000円分のチケット付)

テントサウナにマルシェ、ワークショップやマッサージなど、楽しく“ととのう”体験が盛りだくさん!

※サウナ体験は事前予約優先

※新型コロナウイルス感染症などの影響により、イベントの中止または内容が変更されることがあります



非日常の世界を体験!



詳しくはこちら

### 酒粕を活用したSDGs商品「発酵和ぐらん」を販売

唐津産の粕漬やドライフルーツなどを使った美肌にも良い和風グラノーラ。



1箱864円(税込) ※予約注文



詳しくはこちら

こちらもcheck!

令和5年1月15日まで(金・土・日・祝・祝前日)

### イルミネーション ナイト in ARKS

(佐賀市) キッチンカーやマルシェも!

その他のイベント情報は  
こちら



## 薩長土肥の高校生たちが未来と志を語り合いました!

明治維新150年を機に、佐賀、鹿児島、山口、高知の4県が「薩長土肥同盟」を結び、2019年から青少年交流事業をスタート。3年ぶり2回目の開催となった今回は、10月8日~10日に佐賀県で行われ、各県から10名、計40名が参加しました。幕末維新期の偉人とその志を学び、フィールドワークで交流を深め、最終日は自らの将来や日本の未来について発表を行いました。地域を越えて意見を交わした濃密な3日間。この経験が、それぞれの描く未来に向かって動き出すきっかけになることを願っています。



▲佐賀城本丸歴史館

高校生たちが描く「未来ビジョン」を発表!

佐賀の歴史や先人たちの志を学びました!

